

実践事例から考えるキャリア支援

原 瑞穂(香川大学 キャリア支援センター 特命准教授)

圖子 賀津美(香川大学 教育・学生支援部次長/学生生活支援課長(併))

篠原 佳代(香川大学 教育・学生支援部キャリア支援課長)

講師略歴

【原 瑞穂】専門はキャリア教育、キャリア支援。2016年に山梨大学キャリアセンター特任教授を経て2021年より現職。香川大学のキャリア教育の質向上に向けた教育プログラムの企画、実施、評価に加え、キャリア支援センターの業務に関わる。

【圖子 賀津美】香川大学において、修学支援課、キャリア支援課、学生生活支援課等の学生支援を中心とした業務に携わる。

【篠原 佳代】香川大学において、キャリア支援課、国際課、学生生活支援課等の学生支援を中心とした業務に携わる。

プログラム概要

大学のキャリア支援はキャリア教育と就職支援の大きく2つから成り立っています。学生の主体的なキャリア形成活動につなげるには、この2つがうまく連携し継続して行われることが必要となります。本学では、キャリア支援センター教員が行うキャリア科目とキャリア支援センターが実施する各種ガイダンス等とキャリア相談を柱として、その役目を担っています。

このプログラムでは、キャリア支援センターの実践事例を紹介することで、最近の学生の現状に添ったキャリア支援のあり方について、一緒に考えていきます。

参加者のみなさまには、所属大学の学生のキャリア観や就職活動の様子をもとに、ディスカッションやグループワークなどの活動に積極的にご参加いただくことを期待しております。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

・学生のキャリア支援に興味のある教職員

到達目標

1. 大学のキャリア支援とはどのようなものか、説明することができる。
2. 大学が抱えるキャリア支援の方策について、課題を共有し、解決のヒントを共有することができる。